

「未来をひらく」チーム高島



令和8年10月8日 校長 目野明弘

未来をひらく基礎力

【やさしく】「よさ」と「違い」を認め合う 【かしこく】自分なりに考え「納得」 【たくましく】「やってみよう」「もっとこうしたい」挑戦

10月に入り、秋らしくなってきました。高島でも北よりの心地よい涼しい風が吹く日が増えてきました。風向きが変わり海の状況も変わってきます。明日の大敷体験（定置網漁体験）が無事にできればと願います。

弁護士によるいじめ防止授業 9.25(4・5・6年)



9月25日に、弁護士の方を講師にお招きし、いじめ防止授業を行いました。子どもたちは、しっかりと話を聞き、学びました。お話の内容は次のようなことでした。

- 「いじめとは、相手が嫌だと思ふことである。」
- 「相手が『嫌』と言わない場合も言えないだけだったり、笑っていても心の中で嫌がっていたりすることがある。」
- 「いじめは、やっている人がやらないことも大切だが、見ている人がどうするかが大切」

子どもたちの感想をいくつか紹介します。

- ・今日話を聞いて、いじめをしていなくても、いじめが身近にある人はいじめられている人に寄り添ってあげることが大切だと分かった。
- ・こういうことをしたらだめだな（いじめだ）と気づいたので、気を付けようと思います。
- ・いじめの話聞いて、なかまはずれにされている人がいるかもしれないから、その子には優しく接することが大切だと思いました。
- ・冗談でもいじめはだめだと思った。
- ・インターネットのいじめも注意しないといけないと思った。

以前、弁護士の方のお話の中で「想像力」という言葉がありました。

「そう言ったら相手はどう思うだろう?」「それをしたら相手はどう感じるだろう?」

相手の立場に立って心を寄せること。この「想像力」をはたらかせることこそが、思いやりの第一歩です。

さらに、友達のよさやがんばりを見つけ、認め合うことも大切にしていきたいことです。

ご家庭でも「そのときお友達はどんな気持ちだったかな?」と、相手を思いやる会話を大切にしていけると幸いです。

一人ひとりが安心して笑顔で過ごせる、温かい学校をみんなでつくっていきましょう。

科学教室 9.29(4・5・6年)

9月29日に佐賀大学から講師に宮脇先生をお招きし、科学教室を行いました。

環境についてのお話（南極行った時の話、地球温暖化について、資源の活用：3Rについて）や、資源の再利用についての実験（ヤクルト容器をみかんの皮の油で溶かしてつなげる）を行いました。子どもたちは、実験に興味をもって取り組んでいました。



高島の水産業インタビュー(5年社会)

10月8日(木)2時間目に、5年生は高島漁協にいき、高島の水産業について学びました。

漁協ではかつしさんより、高島の水産業について説明をしていただきました。

子どもたちは、現在の高島の漁の種類や、環境の変化、海を守る大切さなどのお話をしっかりと聞くことができました。

その後、子どもたちから、すもぐり漁やかご網漁、漁業のこれからの課題などについて質問し、学びました。

講師のかつしさんには時間を作っていただき、お話と質問への回答をしていただきました。この学習で、漁のことなど、地域ならではの貴重な学びを広げることができました。感謝申し上げます。



いのしし注意

○イノシシが小学校の運動場に出没しました。幸い、児童は運動場にはいなかったのですが、注意が必要です。年度当初にも配布しました下の「イノシシの正しい対処法」(香川県のHPより)で対処法をご確認ください。

著作権保護のため、載せておりません。
紙面配付した学校だよりにて、ご確認ください。